

1 自己評価及び外部評価結果(しらゆり)

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0371200382		
法人名	株式会社 江陽		
事業所名	グループホーム花の家		
所在地	岩手県奥州市江刺区田原字大日195-1		
自己評価作成日	平成21年11月4日	評価結果市町村受理日	平成22年1月19日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www2.iwate-silverz.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0371200387&SCD=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	財団法人岩手県長寿社会振興財団
所在地	岩手県盛岡市本町通3丁目19番1号 岩手県福祉総合相談センター3階
訪問調査日	平成21年11月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>入居者の方々が、職員の行動、時間に合わせるのではなく、入居者の方々一人一人の生活の習慣や希望に沿える時間、環境作りを行っている</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>2ユニット型で認知症対応型通所介護(デイサービスルーム)と隣には同一法人のデイサービスセンターがあり、各種行事等一緒にやられることが多い。居間兼食堂は明るく、広いスペースがとられており、利用者と職員の笑顔があり、穏やかな雰囲気の中で、過ごすことは楽しい一日となっている。理念そのものの生活の支援がなされている。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/>	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/>	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/>	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価票(しらゆり)

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を策定している 「笑顔」「和」「支え合い」を理念としている	理念は職員全員で話し合い、作り上げたものである。スタッフが常に利用者と共に生活する支援を心掛け理念を共有している。事務室およびホールに理念を掲示している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	部落主催の運動会への参加、珠美会様の踊りの慰問協力をいただいている	自治会に加入している。地区の運動会、保育園児とのクリスマス会や、敬老会等の交流が図られている。国際交流マラソンの応援に出かけるなど取り組みがされている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での話し合いや意見をサービス向上に活かしている	委員の任期は1年としている。外部評価の報告、季節の行事についての助言を伺っている。会議にはテーマを決めて認知症に関する周辺症状について理解を求めようとしている。来年度は近くの駐在所の職員を委員に入れる予定である。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に努めている	運営推進会議委員に江刺総合支所の福祉課長が入っており、市の窓口として情報交換が行われている。市主催の研修会にも参加している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関やリビングの施錠は夜間の防犯目的以外は自由に出入り出来る状態にしている	身体拘束廃止に関する指針を決めている。拘束事例もない。周辺症状が強くなってきた利用者には、外に出て散歩するなどの支援がなされている。夜間の施錠のみ午後8時から翌朝6時30分までとしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修に参加し、スタッフ全員に周知出来るよう回覧している		

岩手県 認知症対応型共同生活介護 グループホーム花の家(しらゆり)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	以前、利用されていた方もいらっしゃいましたので、今後も必要に応じて対応します		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約の際は家族と時間をとって面談している		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホームページを立ち上げている 家族面会時に、機会を設け、聞き入れ管理者に挙げている	家族の面会時や運営推進会議に出席した際に意見、要望を聞くようにしている。体をもう少し動かしてほしいという要望もあり運営に反映させるように努めている。家族アンケートは実施していない。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者と職員、職員同士のミーティングを実施している	毎日のミーティング記録や、毎月の職員会議でテーマを決めて職員それぞれのノートに意見を記入し、会議で話し合われ反映させる取り組みが行われている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	季節により勤務時間の調整を行っている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修への参加		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会に参加し、情報交換や意見交換している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者の要望を聞き入れる体制作りをしている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者基本シートを用い、家族の要望をくわしく聴取していると併に面会時情報交換に努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族と連絡を取り、現状、実情の理解を得ながら家族の要望も取り入れ対応している		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	心掛けている 一緒に食事作りや片付け、掃除洗濯物たたみ、買い物等をしている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時、家族の方からのご希望がある時にはお話を伺う等している		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔ながらの知人や友人、馴染みの場所へ出掛ける機会作りに務める事が出来ずにいる	馴染みの理髪店、美容院は基本的には家族が対応しているが、ホームでの対応も可能である。利用者の友人が来所されるときは家族の了解を得るようにしている。	地域社会との関係が途切れずに継続できるよう、積極的な場面づくりに期待したい。利用者のふるさと訪問の実施やゲートボールの要望等の実現がされることを望む。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お互いが想いやれる、想い合える様に職員が介入して全員で過ごす時間を作ったり、入居者同士の関わり合いを静かに見守っている時もある		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の生活史を把握し、又個々に話を聞いてその時その時の想い等も聞き入れてケア、生活の中に取り入れている。買い物、ネイル、外食等etc	日常生活の場面から、出来るか、出来ないかを観察し、会話を繰り返しながら生活機能の把握に努めている。おちついて、笑顔で暮らしているのは楽しいと理解している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人一人の生活史の聞き取りを行っている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人と必ず関わる事で把握出来ていると共に職員間での話し合いも設けている。身体状況を実施、記録として残している		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	アセスメントを元に計画作成している	半年ごとに介護計画を作成。3ヶ月ごとにモニタリングを行っている。担当者会議にはケアマネ(所長)介護職員、ユニット毎の作成担当者から意見を出し合い、高齢の方(97歳)は医師の意見や、家族の意向も取り入れながら、介護計画やモニタリングに取り組んでいる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の日誌や個人記録に記入し、情報の共有をしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	併設のデイサービスとの連携や認知症対応型通所介護サービスの実施の他、家族が希望した場合は入居者の方と一緒に宿泊が出来る様に柔軟な対応をしている		

岩手県 認知症対応型共同生活介護 グループホーム花の家(しらゆり)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	歯科衛生士、Drの協力をもらい、口腔支援事業への取り組みや、理容師の方に出向いていただいている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医への受診と家族やご本人の希望される病院への受診をされている	協力医がかかりつけ医となっていて、毎月定期に受診され健康管理に努めている。歯科はその都度ホームで対応し、眼科や特別な病気の利用者は家族が対応しお互いに情報を提供している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常に密な情報交換、報告相談し対応してもらっている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ここでの生活継続な限り、医療機関(入院先)へも足を運ぶ等し、様子(状態観察)しながら情報を頂いて環境を整えている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族からの相談が数件あり、方針を説明した上で職員間でも情報の共有し家族と連絡を取り合っている。医療機関への実際な働きかけ	重度化指針を契約時に説明し同意を得ている。段階ごとに家族、医療機関、ケア関係者と協議して計画を立て支援に向けた取り組みがなされている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルも作成しており、日常生活の実践を通し、全員で看護師を中心に勉強会を行っている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練の実施、避難経路図を全員の目の届く所へ貼っている。推進委員会議を通して協力体制作りを行っている	避難訓練を年2回消防署の指導で実施されている。消火器の取り扱いについても訓練が行われている。マニュアルも整備され組織連絡体制づくりができています。	職員だけの誘導には限界があり、地域からの協力が得られるような取り組みを望む。

自己	外部	項目	外部評価		
			自己評価 実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	場をわきまえ、個人対応をも心掛け、じっくり相手の話を聞き入れてから助言、対応を行っている	個人の尊厳の重視の配慮に努めている。一人ひとりケースが違うので職員同士で情報を共有し、日常会話の中でもプライバシーの確保に心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	必ず、何かを決めるにも一人一人に自己決定、希望をうかがって物事を進めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日は出来ていないが、一人一人の生活(一日、一日の)を大切にその日その人が何を望んでいるか叶えられるように心掛け対応している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ネイル、お化粧品等希望される方がおりますので支援している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日曜日の夕食と月曜日の朝食は希望メニューの取り入れを行っている 食事作りや味つけ、盛り付けまで一緒に行っている	週末にお好み献立と称して、利用者と相談しながら買い物に出かけ、好みの夕食作りをしている。調理や後片付けなど一連の作業ができる方が多くみられた。各テーブルに職員が入って会話しながら、楽しく食事できる支援に努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士への相談や話し合いをもちながら栄養バランスの確保を行っている。一人一人に応じた水分摂取量の調整も行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎日、就寝前は必ず口腔ケアを行っている。 毎食前は口腔体操を行っている 口腔ケア支援事業の取り組みとして歯科衛生士、Dr来所していただき指導も受けている		

岩手県 認知症対応型共同生活介護 グループホーム花の家(しらゆり)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	全員、一度に取り組む事は出来ないで、現在一人の方を中心に尿測をしパターンを把握し自立支援へ向けた取り組みを行っている	排せつパターンを把握し、定期的な声掛け誘導の支援がなされている。夜は、熟睡できるようにハビリパンツを使用している利用者が多い。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維を多く含む食品を取り入れた食事や、牛乳、ヨーグルトの活用、又は運動(外出等)を行っている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	いつでも良いと言われる方や、いつと時間や日程を指定される方もいらっしゃるで、その方々の希望にそった入浴をするようにしている	毎日の入浴、一日置き、二日置き等利用者の希望に添いながら、曜日や時間帯は職員側で決めたかたちになっている。入浴拒否の利用者には、職員と一緒に入ったり、清拭、足浴等をして清潔保持の支援をされている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間(特に)、居室でだけと限らず、その人が安心して眠れる場所で休んでいただいている。ホール内のソファにて・・・等		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	特に安定剤に関しては変化に気をつけ、変化が見られる時はFa、DrIにかけあっている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人、その人の生活史を元にその人がその人らしく生活できるように楽しみがもてるように支援している。(ドライブ、買い物、Faとの面会、おやつ作り、畑仕事等)		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	病院受診以外にも、Faとの外出の許可、または普段出掛ける機会の少ない方もご本人が希望される時は車いす等を使用しながら買い物へも出掛けている	帰宅願望の利用者とドライブに出かけたり、受診の帰りに買物をしたり、お盆、お彼岸は墓参りのため外出されている。これからも積極的に地域の協力を得ながら支援されることを望む。	

岩手県 認知症対応型共同生活介護 グループホーム花の家(しらゆり)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	トラブルを避ける為に、預かりにしているも、個々に少ない金額(小銭)を管理されている方もいらっしゃいます		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自由に書いていただいたり、希望に応じて掛けてさしあげたり取り次いだりしている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	配置や、雰囲気作り、清潔面に気を配っている。ラジオの視聴希望が多い	2ユニットで、明るい環境で、広いスペースの居間兼食堂、ソファが置かれ、リハビリ器具が設置されている。行事(お誕生会、お花見、踊り発表会、夕涼み会等)の写真がコメント入りで貼られており笑顔が印象的である。また、花の鉢などが設置されるなど、快適に過ごせるような工夫に取り組まれている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを置いて、その配置も工夫しており、皆でくつろげる場(環境)作りを行っている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	その人らしい居室作りを心掛けている。亡くなられただんな様の写真を飾られ、お水や、鐘をおかされている方もいらっしゃいます	テレビ、写真、時計、整理箱、イス等持ち込まれ居心地のよいように整理整頓され安全に過ごせるよう工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	行動しやすい広いスペース、自由に出入り出来る台所、自由に行き来出来るようにお互いの棟で了解し合っている		